

2021.11.04. 神はあなたに憐れみを下さる

イザヤ 47 章&聖餐式

こんばんは。週半ば、「旧約聖書の学び」へようこそ。今、ライブ配信していた礼拝賛美、皆さん祝福されたでしょう？ 木曜日の夜の礼拝は、聖書を学び進めていて、現在、この素晴らしい「イザヤ書」です。先週、46章を学び終えましたので、今夜は47章です。また、オンラインでご覧の人は、聖餐式セットを準備しておかれるのが良いと思います。今夜の聖書の学びの締めくくりに、一緒に聖餐式に与りますから。本当にそれが楽しみです。その時に一緒に与れるよう、セットを準備しておいてください。では先に、共に祈りの言葉から始めましょう。神に今夜の聖書の学びを祝福下さるようお願いしましょう。一緒に祈りましょう。愛する天のお父様。私たちは、あなたに感謝します。ただ、この週半ばの聖書の学びは、私たちが来れる休息の場なのです。そしてただ、全ての忙しさやストレス、私たちのストレス多い日常生活のすべての心配事や問題を脇に置き、あなたに全集中します。御言葉を通してあなたが私たちの人生に語ってください。だからこそ私たちはここにいて、この週半ばの聖書の学びを心待ちにするのです。主よ、今夜、どうかお願いします。何よりも私たちの心を整え、落ち着かせ、思考を静めて下さいますように。そうすれば、私たちは今夜、あなたをご用意して下さっている事に集中して取り組むことができるのです。主よ、私たちの注意を奪うどんな雑念をも、どうか遠ざけて、抑えてください。主よ、あなたが語られる時、聖霊の静かな小さな声で、どうかはっきり語ってください。そして、そうして下さる時、主よ、私たちはあなたが語られることに聞く耳と受け取る心を持ちたいです。なぜなら、私がこれを言い、祈るのは、今夜ここの、またこれを見ている全ての人を代表しているからです。私たちは必死です。私たちは切にあなたを求めます。私たちは飢え渴いています。あなただけが、私たちの飢え渴きを満たせるのを分かっています。主よ、そうして下さいますませんか？ どうかお語り下さい。あなたのしもべが聞いています。イエスの御名によって祈ります。アーメン、アーメン。

それでは！ 今夜、私たちの前にあるこの章は、再び、比較的短い章です。46章は一緒に出来そうですが、それをやりたくありませんでした。比較的短い章ですけど。すべての章がそうであるように、多くのことが詰まっているのですよ。しかしこの章で、神は預言者イザヤを通し、バビロンへの裁きを預言しておられます。その理由はいくつかありますが、その中でも一番の理由は、彼らがイスラエルの民に慈悲をかけなかった事です。神は、神の民を追いやる道具として、バビロンを使うことを選ばれますが、彼らは神の民に無慈悲だったのです。私にとって、今夜の私たちにとって、多くの教訓となるもので、人間はこれほどまでに無慈悲で邪悪な存在だということです。しかし、神は。彼らに対応されるだけでなく、私たちに憐れみをかけられます。では、この章の導入として、これから見ていきましょう。今夜は、古代バビロンと、このバビロンに関する預言、そして、ヨハネの黙示録で預言されている未来のバビロンとの類似点を見ていきます。ですから神は、バビロンに下される裁きを宣言されます。彼らの邪悪さ、呪術、オカルト行為が故に。しかし、彼らが神の民をどう扱ったかが主な理由です。私がそれを強調し、浮き彫りにする理由は、どうかこれについて間違わないでください。神は、ご自分の民が虐げられるのをご覧になっています。たぶん今夜どなたかのための言葉だと思います。親御さんとして、祖父母としても、こう考えてみてください。子どもさんや孫さんが虐げられたら？ 私の場合、決して忘れないのが、娘が幼かった時、プリスクールに通っていました。そこに娘に意地悪する少年がいました。娘が帰宅して、彼女に意地悪して泣かせた少年の事を私に話しました。こんな風です。

「お～本当か？ その子の名前は？ その子の家を探してやる！ その子は大変な危険にさらされるぞ

～！！」—(笑)— それは聖なるものではないのは分かっていますが、皆さんポイントは分かりますよね。「あれは私の娘だ。あれは私の息子だ。彼らは、私の民だ。君は、彼らをこんな風に扱った。私に対して答えてもらおう。私が最終決定権を持っているのだ。」それが今から見ていく内容です。準備はいいですか？ 今の導入はどうですか？ —(笑)— では1節から、あ、良くなりますからね。かなり生々しいですが。

イザヤ 47

1 おとめ、娘バビロンよ。下って行って、土の上に座れ。娘カルデア人たちよ。王座のない地面に座れ。あなたはもう、優しい上品な女と呼ばれることはないからだ。

2 ひき白を取って粉をひけ。ペールを取り去り、裾をまくってすねを出し、川を渡れ。

3 あなたの裸はあらわにされ、恥もさらされる。わたしは復讐をする。だれ一人容赦しない。

言い換えると、「これは絶対に譲れない。もう決着はついている。」復讐はわたしのもの。—主のことば— (申命記 32:35 参照)

「わたしは、あなたがたに、わたしの民を虐げた報復をする。わたしが、裁きを下す。この預言者イザヤを通し、あなたがたに下す裁きをわたしは預言的に宣告する。なぜなら、これまでのあなたがたは負けたことがない。」

生々しい説明になってしまいましたが、お許してください。「しかし、あなたがたは一度も侵害されたことはない。」それがここでの言葉の意味です。預言者イザヤが、「おとめ、娘」と言う時、道徳性を指しているのではありません。そうではなく、あなたがたは今まで誰にも負けたことがない誰にも滅ぼされたことがない、という意味です。「しかし、わたしがする。わたしは、あなたがたに復讐をする。わたしは、あなたがたと和解することはない。」

これが実現します。あなたがた＝バビロンは滅びます。これは、バビロンに起こる崩壊に関する預言です。4節、

イザヤ 47

4 私たちを贖う方、その名は万軍の主、イスラエルの聖なる方。

5 娘カルデア人たちよ。黙って座り、闇に入れ。あなたはもう、国々の女王と呼ばれることはないからだ。

これは興味深いです。なぜなら、この預言が預言者イザヤによって書かれた時点は、王国のバビロン帝国は、実際にまだ、王国でも帝国でもありません。この預言が記録されている当時の支配帝国は、バビロニアではなくアッシリアでした。事実、この預言が成就するのは、それから約150年から200年後のことで、バビロンがまだこの状態、偉大なバビロンという風に国々の女王と参照される、前です。彼らはまだ偉大ではありませんでした。しかし神は、初めから終わりの事をご存知で、彼らに前もって語っておられるのです。

「いやあなたは、偉大な王国になり、わたしはあなたに、わたしの民を捕囚することを許す。わたしはあなたをわたしの民を懲らしめ、躰けるためわたしの道具として選ぶ。」旧約聖書を通して興味深いのは、より良い言い方ではありませんが、非常に周期的なのです。神が、ご自分の民を懲らしめ躰けられて、そして民は悔い改め、それから神が、民を回復させられます。それから民は、また神に対して罪を犯し、そして神は、再び民を懲らしめられ、また民は再び悔い改めます。すると神は、再び彼らを回復させられ、それから民は再び神に反抗します。そして、頼みますよ。(JD 牧師挙手中) OK。ありがとうございます！！ それって私たちですよ。皆さん、私たちは、すぐに彼らを厳しく非難したりすることで、大き

な過ちを犯します。つまり、「神は奇跡的に救って下さったのに、彼らってまた、反抗するの？」お～本当に？「神は憐れみ深いお方だから、彼らを回復させられたのに！ 神は慈悲深く、愛の神で、長く忍耐され、お優しく、許して下さるから、彼らを回復させられたのに。それで彼らは、また神に反抗するの？」私たちがそれをするのですよ！！ いつものことながら。最後の一つ。たぶん聖霊だと思えます。それには理由があると思えます。言い訳ではなく、説明があります。しかし、それを説明するため、私が考える事です。主と共に歩んできた私の個人的な経験からお話します。OK。「ヘブル書」の著者が言うように神は訓練されます。主の訓練を軽んじてはならない。主はその愛する者を訓練されます。(ヘブル 12:5-6 参照)

自分が神の子だと分かる方法は、神が訓練される事です。考えれば、自分の子ではない子どもを叱ったりはしないでしょ。もしそうしたら、深刻な問題です。自分の子じゃないのですから。誰かの子どもを叱ったりしますか？ 自分の子どもだから叱ったり躰けたりするのは。それが、自分の子どもだと分かる方法ですよ。あなたが彼らを躰けるのですから。別の方法があればいいのですが、「神の子」と書いたバッジがあれば躰ける必要ないでしょうにと思えます。そうではありません。躰けるのが分かる方法です。自分が神の子だと分かるためのリトマス試験は、神があなたを訓練されるからで、それを軽んじてはいけません神があなたを愛しておられる証拠で、神があなたを愛しておられないなら、悩むことも、気にもなりません。神の子ではないのですから。なぜ、わざわざあなたを懲らしめる必要があるのか？ 因みに、この躰けると言う単語、多くの悪評を受けています。弟子という単語の、実に根源から来ています。弟子 → 躰ける → 律する訓練。主を恐れ、戒めのうちに。私たちは迷いがちです。時代を超越した昔の賛美歌の通り、「私たちは迷い、後退する。私たちは反抗する。それで神は、私たちに懲らしめ、叱らないとなりけません。そして私たちは悔い改める。神が回復させて下さる。神は私たちに祝福し、私たちに繁栄させて下さる。」その祝福と繁栄のど真ん中で、私たちは忘れてしまいます。それが危険です。実によく考え、また教えるのは、私たちが主と共に歩むためには、繁栄は貧困よりも危険である事。私が言いたいのはこれです。逆境の時は、私たちは主にだけ頼ります。危険なのは繁栄している時です。主に頼る必要がなくなるからです。自分の力を信じてしまっています。そもそも神が、私に与えて下さったものなのに。私はその(事柄)に期待し始め、それに頼り出します。神は、ねたみの神です。(出エジプト 34:14 参照) 私たちに妬まれるのではなく、私たちのために、妬まれるのです。これが聖典ページに繰り返す、神がこう宣言されている理由です。「わたしは神、あなたがたの主である。彼らが神ではない。」それを章の最後に見ることになります。辿り着けるなら、ですが。しかし神は、ご自分が神であることを民に思い出させなければならぬのです。神は、このような偽りの神々を嘲笑うようなこともしておられます。

「さあ、あなたの力を見せてちょうだい。やっでござらんよ。あ～出来ないよね。あなたは神じゃないから。ははは。」神はそれを楽しんでおられます。なので私は、楽しんでいきたいと思えます。しかし、私たちがなぜこういう傾向にあるのか改めて説明が必要だと思えます。物事がうまくいっているときは、主から離れ、律法からも遠ざかりがちです。しかし逆境の時は、主の御前にひれ伏し、主に泣き叫びます。それがイスラエルの民にまさにかこったことなのです。彼らは主に泣き叫びます。「お～主よ。私たちに救ってください。」そして神が彼らを救われます。その後、彼らはすぐ元に戻ります。すぐ振り出しに戻るので。「箴言」が最高に生々しく語るように、

犬が自分の吐いた物に戻って来るように、愚かな者は自分の愚かさを繰り返す。(箴言 26:11)

子どもの頃、忘れられないのが、それを始めて見た時でした。(おえ～吐き気) でしょう？ それ覚えますか？ 何をしているの？ なぜそんなことをするの？ なぜ犬ってそれをするの？ とにかく、失礼しました。特に夕食をされたばかりの方には。6節、

イザヤ 47

6 わたしは、わたしの民を怒って、わたしのゆずりの民を汚し、彼らをあなたの手に渡したが、あなたは彼らをあわれまず、(これお聞きください) 老人にも、ひどく重いくびきを負わせた。

そこを覚えておいてください。後で戻ります。

7 あなたは『いつまでも女王でいよう』と考えて、これらのことを心に留めず、自分の終わりのことを思うことさえしなかった。

ここにも、その結論があります。今夜私たちのための、主要な学びだと思います。これは、この預言の「何が」の背後にある彼らが神の民に情けをかけなかった「理由」です。そして、面白いと思いませんか？ 皆さんにこの質問をしたいと思えます。これは私が自分自身に問いかけた質問です。神が預言者イザヤに、老人への接し方についてのこの独特な詳細を記すよう促されたのが興味深いと思いませんか？ それは、神が老人についてどう思っておられるかということ関係があるのではないのでしょうか？ 信じたほうがいいですよ。

「あなたがたはわたしの民に何の情けもかけなかつただけではなく、あなたがたの老人への扱い方だ。」ここには、現代の私たちがお年寄りにどのように接するかという教訓があると思えます。同意していただけますか？ 私たちは、「私たち」と言うのは、キリストの体として広義な意味です。何年も何年も、主とともに歩んできた人たちの偉大で壮大な知恵を私たちは、奪ってきたのだと思えます。事実、新約聖書の中で、使徒パウロからの勧告は、年配の男性は若者の模範となり、年配の女性は、若い女性の模範となる事。そして彼らに、神の事を伝える事。白髪の人たちには、たくさんの知恵が詰まっています。(テトス2章参照) しかしつまり、これを本当によく考えますが、私の両親は、孫に会うことはなく召天しました。長男が生まれた時、母親や父親に電話できたらいいのと思いました。特に、夜中の2時に。

「どうすれば泣き止むの？ 夜中の2時に眠れるように。僕たち、息子が生まれてから一度も寝てないんだ。」母が、訛りのある言葉で、きっと今こんな風に言うのが目に浮かびます。母はいつも私に言いました。私は母にとっても苦勞をかけました。ああ、母の心に祝福を。母はいつも私に、訛りのある言葉でこう言いました。「自分の子どもが出来れば分かるわ！」そして私はこんな感じです。「はいはい。分かった分かった。」そして自分の子どもが出来て、もう母はいません。もし母が健在だったら、あの強い訛りで、何を言うのか分かりますよ。「私がそう言ったじゃないの。」—(笑)— 理由もなく、聖書に詳細が記録されているとは決して考えないでください。神の御言葉には全て理由があります。神は、私たちが社会の中でお年寄りを、弱い人、病弱な人をどのように扱っているのかご覧になっておられると思えます。最も小さい者、最後の者、足の不自由な者、目の見えない者を。福音書の中に、イエスが、社会の中で最も貧しい者や最後の者、弱い者に、非常に魅力を感じておられたことがよく分かります。ご自身もよく仰っていました。

「医者が必要とするのは、丈夫な人ではなく病人です。わたしが来たのは、捕われ人を解放し、病人を癒し、盲人の目を開かせるためです。」(マルコ 2:17 参照)

イエスは惹かれ、彼らに引き寄せられておられました。救い主の口から出た最も厳しい言葉は、宗教指導者たちに向けられたものだったのをご存知ですよ？ 大変厳しい口調です。

あなたがたは蛇よ、まむしの子孫よ。(マタイ 23:33)

それってどうです？ 神は気にかけておられます。ところで、ここでの最後の一つですが、「マタイの福音書7章」で、実は私、この学びの準備をしているとき、自分の記憶を更新したいと思いました。間違っていたら訂正してください。私は間違っているかもしれませんが、「マタイの福音書7章」だと思います。あの記述を覚えていますか？ 悲しいことに、文脈を無視されることが多いです。それはイエスが仰る箇所です。

「互いに憐れみ深くなりなさい。与えなさい。そうすれば、あなたがたも与えられます。詰め込んだり、揺すって入れたり、溢れ出しあなたがたが量るその秤で、あなたがたも量り返してもらえますからです。」
(ルカ 6:38)

その文脈をこう聞いたことがある人がどれほどいるでしょう？「もし、あなたが与えるなら？ 実は今、主が仰いました。ここにはそういう人がいますね？」—(笑)—

でしょう？ それは常にお金のための文脈で語られます。しかし私は、それってお金のための文脈ではなく、慈悲深くあるための文脈だと言わせて頂きます。言い換えると、あなたは、神があなたに慈悲を与えて下さるのを望んでいますか？ 自分が憐れみ深くなりなさい。見返りは、あなたが人を憐れむために使った量が、神があなたを憐れむために使われる量と同じになります。そして実際、詰め込まれます。もっと入れようと詰め込む方法ご存知ですか？ 揺すって、詰め込んで、溢れ出すのです。それが神の憐れみなのです。神に、「憐れんでください。」と祈る時、前提条件があります。必須条件があります。

「お～あなたに憐れみ深くになりたいのです。でもどうやら、あなたはあまり情け深くなかったようですね。むしろあなたは、情けはいらないと思っていましたね。あなたは彼らに当然の報いだと考えた。」なぜ、私たちはいつも自分のために慈悲を求めるのでしょうか。彼らのためにではなく、自分のために？ 指さしてごめんなさい。皆さん、隠れて、「私じゃないよ～！」—(笑)— それが本当の「至福の教え」です。8節、

イザヤ 47

8 だから今、これを聞け。楽しみにふけり、安心して住む女よ。心の中で、『私だけは特別だ。私はやもめにはならないし、子を失うことも知らなくてすむ』と言う者よ。

9 子を失うことと、やもめになること、この二つが一日のうちに、瞬く間にあなたのところにやって来る。(これらは突然あなたを見舞う。その理由を注意して聞いてください。) あなたがどんなに多く”呪術”を行っても、

”呪術”これ覚えておいてください。

どんなに呪文の力が強くとも、これらは突然あなたを見舞う。

言い換えれば、「バビロンよ。この裁きは、あなたに降りかかるこの裁きに関する預言は、あなたがこう思っている時にやって来る。」「我々には何も起こらない。我々のような者は他にない。これを見てもよ。」この王に聞いてみてください。「私が自分の手で建て上げたこの偉大なバビロンを見てもよい。」大ブーイングです！！「お～本当に？ 自分は無敵だと思っているのか？ 誰も自分に勝てないと思っているのか？ 自分は安全で、自分が建てた厚い壁は誰にも破られないと思っているのか？ あなたは間違っている。それはやって来る。そしてやって来るだけでなく、完全に起こる。そして完全に起こるだけでなく、24時間以内に起こる。」

ところで、これは黙示録に預言されている未来のバビロンと並行しています。そしてこの "sorceries /呪

術"という単語に注目してください。ヨハネの黙示録に、「sorcery/魔術」という単語が出てきます。この日曜日の「聖書預言・アップデート」で実際にこの話をしますが、読まれたいなら、黙示録 18 章 23 節です。バビロンが崩壊する時、これは、古代のバビロンではなく、未来のバビロンです。実に似ています。その類似性は不気味なほど似ています。バビロンへの裁きと、バビロンの崩壊は、彼らが、その"sorcery/魔術"ですべての国を欺いたからです。新約聖書原語のギリシャ語で、"sorcery/魔術"という単語 pharmakeia/ファルマキアは、英語の pharmacy/薬・pharmaceuticals/薬剤 の語源です。ここでそれは置いておきます。注目すべきは、当時のバビロンがサタニズム（悪魔主義）とオカルトに染まっていたことです。これはすぐに分かりますが、魔術や魔法の薬を使うことです。彼らは呪術師でした。彼らは魔女でした。膨大な呪術を使って、彼らは人々に魔術をかけました。非常に悪魔的でした。そう、当時から何も変わっていません。包み直されただけです。ここで心に留めていただきたい事があります。これは特に最近、私がよく考えることです。その理由はすぐに分かると思います。私たちは、神が、昨日も今日も、永遠に変わらないお方であるのを知っています。しかし、こう言う風に考えたことはありますか？ こんにちサタンは、当時と変わらない同じサタンです。皆さんに、変な気を起こさせたくありませんが、皆さんの幾人かは、こうなっておられます。

★警報発令★そんなことはしたくありませんが、私たちは、どちらかの極端に行ってしまいがちだと思います。どちらの極端も、聖書に反するものであり、賢明ではないと思います。しかし一方で、サタンは神の対極の存在だと言ってしまう。そうではありません。サタンは全知全能ではありません。偏在できず、全能者でもありません。しかしその一方で、私たちは極端になると、彼がどれほど力があるのかを見逃してしまいます。彼はしばらく前からいました。その例を挙げてみます。ナイン・インチ・ネイルズというサタニ的グループがいます。聞かれたことがあるか分かりませんが、80 年代か 90 年代発足のグループで、非常に悪魔的です。実際、彼らのアルバム・ジャケットには、十字架にかけられた猿の姿が描かれていることが多いです。神への冒瀆です。ナイン・インチ・ネイルズとは、グループの名称で、非常に悪魔的です。彼らは、富と名声のため悪魔に魂を売りました。なぜ、ナイン・インチ・ネイルズというのか、興味深くないですか？ 理由を言いましょう。救い主の手と足に打たれた釘は、私たちが知っているような釘ではなく、杭でした。その長さが、ナインインチ（9 インチ/約 23cm）だったと言われています。考えてみれば、骨を貫き通し、木に食い込むためには、9 インチにしなければならなかったのです。だからそうしたのです。サタンは、その場にいましたからね。衝撃的な話かもしれませんが、サタンは十字架刑の場にいました。彼は、救世主を刺した 9 インチの杭の製造方法も知っているでしょう。では私は、なぜそれを指摘するのでしょうか？ 理由は、彼は、呪術、魔術、オカルト、サタニズムなど、悪魔的オカルトを使うこんにちのサタンと同じです。同じサタンです。ただ彼は今や、当時よりもはるかに優れた技術をこんにち、持っています。しかし、同じサタンです。同じ呪術、同じ行為です。さっとこの最後の 1 つを言います。繰り返しますが、これについてはこの日曜日の「聖書預言・アップデート」でお話ししますが、私が衝撃を受けたのは、ヨハネの黙示録 18 章 23 節の、未来のバビロンに関するその預言の具体性です。なぜならバビロン崩壊は、彼らがユダヤ人だけでなく、ユダヤ人国家だけでなく、"すべての国々"を欺いたことが明確な理由だからです。彼らがどのようにして、地上のすべての国々を欺いたのかまで語られています。彼らは、ファルマキア＝薬剤を使い、地上のすべての国々を騙したのです。そして、この未来のバビロンに関する預言は、実際、黙示録 17 章と 18 章と、2 つのバビロンがあります。しかし、未来のバビロンに関するこの預言は、7 年間の患難時代に成就します。そして、バビロンは、

彼らの sorceries/呪術・薬剤を使って、全ての国々を惑したため、崩壊するのです。興味深くないですか？この裁き、この古代バビロンに関する預言は、その呪術の数の多さが故に、完全にやってきます。10 節、ここも興味深いですね。ここでも類似性が見られます。

イザヤ 47

10 あなたは自分の悪に抛り頼み、『私を見ている者はいない』と言う。あなたの知恵と知識、これがあなたを迷わせた。...

ここで止めます。これって興味深いですよ？ あなたの呪術の知識、あなたは自分の邪悪な行為に精通していて、それがあなたの心を歪め、墮落させてしまった。それが神の仰っている事です。

...だから、あなたは心の中で言う。

(ここで再度出ます)『私だけ(I am)は特別だ。』I am/私だけの 2 語が興味深いですよ？ 追記：「私の他にはだれもいない」

11 しかし、わざわざがあなたを見舞う。それを払いのける呪文をあなたは知らない。災難があなたを襲うが、あなたはそれを避けることができない。破滅は知らないうちに、突然あなたにやって来る。

皆さんに、この単語"suddenly/突然"に、注目してほしいのです。その意味が分かりますか？ "suddenly/突然"突然、起こるのです。この破滅は、突然起こるのです。"suddenly/突然"

「第一テサロニケ 5 章 3 節」、ほとんどオウム返しのように、バビロンが自分たちのことを何と言っているかが強調されています。人々が「平和だ、安全だ」と言っているとき、「全てが順調だ。こんな分厚く大きな壁を見たことがあるだろうか？ 我々がいかに頑強か分かるだろうか？ 我々のような者は他にいない。我々には絶対に何も起こらない。平和だ。安全だ。」

彼らがそう言っている時、突然の破滅が起こります。突然の破滅が何か、考えてください。突然やって来る破滅です。繰り返しますが、大変意味深なのは分かっています。突然の破滅です。そして、これが鍵です。"彼らを"襲います。それを逃れることは決してありません。(第一テサロニケ 5:3)

なぜなら、妊婦に産みの苦しみが襲うように突然やって来て、痛みの頻度と強さが増し加わるのです。そんな風に、突然起こるのです。彼らが逃れられないのを私が強調する理由は、彼らは、私たちではありません。繰り返しますが、意味深なのは分かっています。私たちと彼らとの間には、違いがあります。パウロが文脈で語るのは、「私たちは、彼らではありません。」

生き残っている私たちは、引き上げられます。(第一テサロニケ 4:17)

私たちは逃れるのです。彼らは逃れられないのです。ですから、私はどんどん確信を深めています。独断専行ではありませんが真価があると思います。この突然の破壊が彼らに降りかかる時、私たちは上に上がります。これが下ると、私たちは上がる。一拍手ー ありがとうございます!!! つまり、どこに署名すればいいの？ 必要ありません。既に署名され、支払われています。ご心配なく。皆さんは、上に上がるのです。因みに、古代バビロンに下る突然の破滅に関するこの預言は、ここに記されているまさにその通り成就しました。「ダニエル書 5 章」に記録されています。それは非常に迅速でした。一晩で征服されたのです間違いなく難攻不落な物を、キュロスが侵略し、攻撃し、打ち負かし、破壊しました。まさか、でしたが、問題は、神がこうなると仰ったからです。神がそう仰ったらそれで決まりで、その通りになるのです。実現するだけでなく、神が仰った通りに実現するのです。そして、その通りになります。神が仰った通りになりました。「ダニエル書 5 章」に記されている通りです。12 節、「立ち上がれ。」ここは神が、ちょっと面白がっておられます。

イザヤ 47

12 さあ、若いときからの使い古しの呪文や多くの呪術を使って立ち上がれ。あるいは役立つかもしれない。脅かすことができるかもしれない。

訳すと、あなたの今まで生きて来た人生。あなたが若い時からずっと、労して身に着けた、これらの行為、呪術、呪文。神はまた、ある意味、彼らを嘲笑して仰います。「あるいは役立つかもしれない。もしかしたら、勝てるかもしれない。無理だけど。」無理だとは、原文に書いてありませんが。13節、

13 助言する者が多すぎて、あなたは疲れている。さあ、天を観測する者、星を見る者、

(このリストを見てください) 占星術ではないですか? お～

日の下には新しいものは一つもない。(伝道者 1:9)

...あなたに起こることを新月ごとに知らせる者を立たせて、あなたを救わせてみよ。

つまり、「あなたは彼らに目を向けている。若い頃から一緒に身に着けて来た。あなたは彼らを信頼している。もしかしたら、勝てるかもしれないじゃん。もしかしたら、あなたに迫り来るものからあなたを救い出してくれるかもね。だから彼らに聞いてみれば? そうしてみればいい。」ここを面白おかしく学ぶのをお許してください。でもそれが13節の内容なのです。本当にそういう誘因なのです。神が、預言者イザヤを通して仰います。「彼らにチャンスを与えよう。やってみなさい。どうぞどうぞ。さあ、占星術師よ、さあ、みんな来て。さあ、天文占術師、さあ、みんな来て。毎月の星占い予言者、あなた方、ここに来なさい。さあ、集まりなさい。」OK。ここに立って、彼らを救ってみよ。ははは。あ～ごめんごめん。君たち出来ないね。無理なものね。」繰り返しますが、sorceries/呪術の記述に注目ください。私は、この重要性を過大評価できるかどうか分かりません。悪魔的行為だからです。悪魔やオカルトは、当時と同じく、今も健在です。このような行為に関して1つ、特に、sorceries/呪術の場合、再度、日曜日に話しますが、呪文であり、欺瞞です。人にかけられる呪文は本当に強力です。決して、敵の持つ力を過大評価してはいけませんが、過小評価もしてはいけません。サタンは、私たちに自分が大変パワフルだと思わせたいのです。そうではありません。私たちのうちにおられるお方は、この世の君よりも偉大なのです。日曜日にこのことを述べました。今夜、再度繰り返す価値があると思います。私たちは、決して悪魔を恐れてはいけません。彼は、私たちが彼を恐れる以上に、私たちが恐れています。なぜなら、イエスの御名を口にただけで全ての名に勝るイエスの御名を口にすることで彼は耐えられないのです。こんなことがありました。以前にも話したことがあります。激しい霊的戦いの時、讃美歌を流すことがあります。私が讃美歌と言う時は、歌詞にイエスの御名が含まれている曲のことです。それが今や、もう当たり前のことではありませんから。私は大音量にします。お隣にも聞こえるように。サタンはそれを嫌っています。祈る時は、大きな声で祈ります。彼は私の思考が読めませんから。思考に考えを置くことはできますが、思考を読むことは出来ないのです。だから、彼の耳に届くように言うのです。「イエス様、ありがとうございます。イエス様あなたを讃えます。」私は、神の御約束を宣言し、宣告し始めます。

「神よ、私に内在する聖霊はより偉大であり、悪魔よりも強力であることを感謝します。」ははは。なんと楽しいのでしょうか。これまでも何度も共有してきましたが、私がそうするとき、違った目で私を見ないでほしいのですが、これまでも、悪魔に向かって言ったことがあります。「ここから出て行け!」逃げます。悪魔に抵抗すれば悪魔は逃げていきます。(ヤコブ 4:7 参照)

「ここから出ていけ! そもそも、ここで何をしているのか?」そしてイエスの御名を宣言し始めます。時に、彼に言う必要もありません。あなたがイエスを宣言し、歌い、賛美し始めたら、彼はとにかくそこ

から出て行きます。彼には我慢できないのです。OK、それはもう十分ですね。14 節、ちょっとやりすぎたかな。

イザヤ 47

14 見よ。彼らは刈り株のようになり、火が彼らを焼き尽くす。彼らは自分のいのちを炎の手から救い出すこともできない。これは身を暖める炭火でもなく、その前に座れる火でもない。

15 あなたが若いときから仕え、(再度ですね) 取り引きしてきた者たちは、このようになる。彼らはそれぞれ自分勝手に迷い出る。...

皆さん特に、この章の最後の 5 つの語に注目ください。...No one shall save you

あなたを救う者は一人もいない。

彼らはこれらに救いを求めていると推察されます。彼らは、自分たちを救ってもらおうと、sorceries/呪術に目を向けています。彼らは自分たちを救ってもらおうと、その予知能力者に期待しているのです。彼らは、若い時から知っているこれらの者たちに救いを求めているのです。彼らは、あれに、これに、彼に目を向けています。興味深くないですか? 「いかなる物もあなたを救うことはできない」とは書かれていません。「いかなる者(人)もあなたを救うことはできない」と書かれています。救える方は、イエス・キリストです。これが、今日の私たちへの言葉です。これについても、日曜日に話します。私たちの唯一の希望は、イエスです。誰も私たちを救ってはくれません。ここから抜け出すことはできません。私たちはこれを乗り越えられません。私たちの唯一の希望は、イエスです。イエスは、私たちの祝福された希望だけでなく、私たちの唯一の希望なのです。イエスだけが、私たちを救えるのです。政治家は私たちを救ってくれません。慎重に言っています。敢えてその話をすると、毎回トラブルになります。どんな人もあなたを救ってはくれません。どんな人もあなたを救えないのです。彼らがあなたを救ってくれると思いますか? そんなことで救われると思いますか? お~待ってください。分かります。あなたは、科学があなたを救ってくれると思っていますね。どんな人も、どんな物もあなたを救う事は出来ません。イエスが、お救いになります。イエスだけが救えるのです。私はこれが、事実、主の食卓(聖餐式)を共にするというに結びつける良い方法だと思います。それがすべてだからです。イエスがお救いになります。今夜、私たちがしようとしていることは、イエスが私たちのために死んで下さったことを思い出し、記念し、祝うことです。だからイエスが、救世主として、私たちを救う事が御出来になるのです。私を救えるのはイエスしかいません。あなたを救えるのはイエスしかいません。イエスが(その)道です。単に一つの道ではありません。イエスが(その)真理です。単に一つの真理ではありません。イエスが(その)いのちです。単に一つのいのちではありません。

イエスを通してでなければ、だれも父のみもとに行くことはできません。(ヨハネ 14:6)

繰り返しますが、「聖書預言・アップデート」と「ヘブル書の学び」もしていますが、このことについても、この日曜日に話します! もちろん、来て下さると嬉しいです。話すことがたくさんあります。しかし、こんにちの世界がどれほど救いを必要としているのかを話します。そしてこんにちの世は、どれだけイエスが必要なのか。イエスが救い主だからです。当然のことを言っているのは分かりますが、あなたが自分の命を救いたいなら? 一失いなさい。自分の命を維持しようと思いませんか?

自分の命を失う者がそれを守り、命を守ろうとする者は命を失う。(ヨハネ 12:25)

これは逆説の中の逆説であり、私たち全員が早急に把握しておくべきことだと思います。上る道は、下り坂。私はよくそう考え、私も同罪ですが、私たちは、自分の家ではない、この墮落した世界に執着してい

ます。この世という一時的な仮の土壌に深く根を下ろしてしまっただけのために、とっくに長居してしまっているのですよ。ここは、私たちの最終目的地ではありません。イエスが再び来られます。イエスがこの世から、私たちを連れに来られるのです。私たちは救われているからです。イエスが救い主だからです。ルカの福音書の22章に、私たちが親しみを込めて「最後の晩餐」と呼ぶ記述があります。イエスが、弟子たちにご自分が十字架にかかることを死なれることを伝えられた箇所です。彼らはこれから過ぎ越しの祭りを祝おうとしています。

ルカ 22

14 その時刻が来て、イエスは席に着かれ、使徒たちも一緒に座った。

15 イエスは彼らに言われた。「わたしは、苦しみを受ける前に、あなたがたと一緒にこの過越の食事をすることを、切に願っていました。

16 あなたがたに言います。過越が神の国において成就するまで、わたしが過越の食事をすることは、決してありません。

言い換えると、「あなた方、私たちが食事をするのはこれが最後です。過ぎ越しの祭りを祝うのは、これが最後です。」「また一緒にお祝いしますがそれはここではありません。」次回、過ぎ越しの祭りを祝うのは、私たちがここでやっていることが、最終的に私の王国で成就するときです。

ルカ 22

17 そしてイエスは杯を取り、感謝の祈りをささげてから言われた。「これを取り、互いの間で分けて飲みなさい。

18 あなたがたに言います。(2度目です) 今から神の国が来る時まで、わたしがぶどうの実からできた物を飲むことは、決してありません。

これが最後です。

19 それからパンを取り、感謝の祈りをささげた後これを裂き、弟子たちに与えて言われた。「これは、あなたがたのために与えられる、わたしのからだです。(そしてイエスはこう仰います) わたしを覚えて、これを行いなさい。」

ここにおられる人は、聖餐式セットを出して、パンを取って少しお待ちください。私はいつも聖餐式を楽しみにします。お祝いの場だからです。月の第一木曜日だから行うのではありません。一緒に与るたびに、いつも新鮮で新しい発見があります。これを覚え、イエスが私たちのためにして下さったことを祝う事、それがイエスが私たちに仰っていることだからです。「わたしを忘れないでほしいから、何度でもやってほしいのです。」忘れてしまい易いのを分かっておられるからです。これは、私と家内がいつも交わす会話です。私は、覚えておくべきことを忘れてしまうのです。覚えていないから忘れてはいません。だから、忘れてしまうのです。思うままにすればいいわ！ 時に、私たちは忘れていないのではないかと思うことがあります。つまり、私たちの人生をこう生きているのではないかと。「こんなものだ。」私たちは忘れてしまいます。ちょっと待ってください。こんなものではありません。私は救われているのですよ。救われていないかのように、人生を生きているのでは？ からかっているのですか？ きっとこれを聞いたことがあると思います。台無しにしないのを願いますが。私には台無しにする賜物があります。でも、こんな感じです。クリスチャンにとって、ここは私たちが知るところの最高の地獄です。しかしノンクリスチャンにとって、ここは彼らが知るところの最高の天国です。それを考えてください。これはさすがに最悪です。もし私が頻繁に話し合う必要があるなら、たぶんもっと頻繁に話し合うことになるかもしれ

ません。自分が救われているのを忘れてしまう理由が他にあるなら。なぜなら、イエスが地上に来られたのは、私のために死ぬため、私のためにご自分の身体を砕くため、私のために血を流すため、私のために全額支払うためなのです。私は代価を支払ってもらって買い戻されたのです。イエスが代価を支払われました。私は救われているのです！ これはさすがに最悪です。しかし もっと悪くなったらどうしよう。いいえ、それでも私は救われています。私はまだここから出ていません。イエスはもう、私のために戻って来られます。だから、自分に言い聞かせる必要があるのは、というのも、時にある状況に置かれたときに特に困難な状況のときに、私はそれに陥ってしまいます。それに関する天の視点が必要です。自分が置かれている困難に対して天の視点全てを変えてからです。パウロが言ったように、

今の時の苦難は、やがて私たちに啓示される栄光に比べれば、取るに足りないとは私は考えます。

(ローマ 8:18)

ペテロが言った通り、

今しばらくの間、様々な試練の中で悲しまなければならないのですが、(第一ペテロ 1:6)

先週の日曜日話しましたね。それでも私は、救われているのです。それを思い出す必要があります。これが、思い出すためのものなのです。「わたしを覚えて、これを行いなさい。」だから、皆さんがこれをする時、私たちがこれをする時、私たちのために砕かれたイエスの体を思い起こしながらしましょう。一緒にいただきましょう。

主よ、ありがとうございます。まず、何よりも、私たちのために、あなたの体が砕かれた事を。そして主よ、あなたを忘れないよう私たちにこれをさせて下さっている事に感謝します。この慣習、聖餐式があることに感謝します。この記念・聖餐式は、私たちが今、私たちのために砕かれたあなたの体の象徴のパンを分け合ったことが、もうすぐ、もうまもなく行われる時が来るのを思い出させるお祝いです。私たちは、あなたの王国であなたと一緒にするのです。主よ、私たちも、今夜私たちがしていることがあなたの王国で成就するその時を、切に待ち望み、熱望します。主よ、ありがとうございます。ルカが同様に、続けて書いています。

ルカ 22

20 食事の後、杯も同じようにして言われた。「この杯は、あなたがたのために流される、わたしの血による、新しい契約です。」

大変重要です。ここにおられる人は、聖餐式セットの下部を開けて、しばらくお待ちください。杯の象徴について、いくつかの考えを述べます。一番目、聖書が語る通り、

「血を流すことがなければ、罪の赦しはありません。」(ヘブル 9:22)

それがこの象徴です。イエスの血が、私たちの代わりに私たちの罪の赦しのため流されました。これが血による新しい契約なのです。ここが重要ポイントです。欧米の文化では、それを見逃しています。私の出身地である中東文化では、今でも健在です。何という事でしょう。皆さんの歯車を狂わせることになるでしょうけど、彼らは同じ1つのパンから共に食べ、同じソースに浸し、同じ杯から飲むからです。ひ～じゃあ、それ消毒してるのですよね？ そんなことしませんよ。2度漬けです。ウイルスは？ 特に今は、色々起こっています。手袋、シールド、マスク、手の消毒が必要ですからね。一緒に想像してほしいのです。お付き合いください。これは大事なのです。理由はすぐ分かります。彼らはパンを取り、こんにち、彼らは種なしパンを取ります。種なしパン（無発酵パン）です。酵母が、罪の描写で型ですから。罪のない、イエスの体をパン種を使っていないパンで象徴します。ピタパンです。いいですか？ 彼らはパンを

裂き、その裂いたばかりのパンを相手に渡すのです。裂いては、他の人に渡す。そして全員が同じパンから食べるのです。その考えは、あなたの中に、私の中に、同じパンがある。では、フムスと、ほ～ ババ・ガヌーシュについてお話ししましょう。ゼーテ/ザアタル。オイルとヒソップがあって、オリーブオイルにパンを浸すとそりゃ～もう～(>◡<)♡ そして、このヒソップに浸します。パンに付いたオイルに付着させるのです。それはそれは美味しいのです。母はいつもそれを作ってくれました。懐かしいですね。天国でまた味わいますよ。彼らは同じパンを、同じオイル、同じフムス、同じヒソップにつけるのです。ですから、私たちがもし何か浸すなら、自分のお皿でしますね。

「共有しないで、自分のお皿に乗せて、自分で浸す。一度浸したら、二度漬けしない。私と共有してしまうじゃない！」中東ではそうなりません。私たちは1つだから、問題ないのです。あなたの中に、私の中に同じものがある。共通の結合。交わり＝ 聖餐式 事実、それ以上に深いのです。ほら、今私たちは結合している。中東でパンを裂くとき、特にアラブの文化では、それは死への忠誠の象徴なのです。共にパンを食べたからです。ちなみに、彼らはそうやって取引契約もしていました。覚えていますか？ 最後にこれをシェアします。あ...時計を見ないでください。お～もうすぐ終わりますよ。

1993年、ホワイトハウスの庭で、ビル・クリントン大統領(当時)とヤセル・アラファト、イツザック・ラビンと一緒にいたのを覚えていますか？ 彼らはオスロ平和協定に合意しました。握手をしているときに、ちょっと気まずい雰囲気になっていました。あれは何の意味もありません。握手が？ 全くありません。どのように取引や、平和条約、契約をするか知っていますか？ テーブルに座って一緒に食事をし、一緒にパンを裂くのです。それが契約なのです。ですから、アラブ人は、それが意味することのゆえに、ユダヤ人と一緒に食事をすることはありませんでした。結合の交わりです。同じ杯から飲むのは、あなたの中にあるものは、私の中にもある。ですからイエスは杯を取り、それを回されたのです。彼ら全員が同じ杯から飲むように。イエスは、弟子たちにこの杯がご自身の血の象徴、私たちのすべての罪の赦しのための血による新しい契約だと仰っているのです。一緒にいただきましょう。済んだら、ご起立ください。賛美チームが上がってきます。賛美で締めくくります。ご忍耐に感謝します。そんな長くなっていませんね。聖餐式を急いでしたくはありませんから。主よ、ありがとうございます。

愛する天のお父様。私たちは、繰り返しになります。どんな言葉を口にしても、どんな祈りでも、主への感謝と感謝の気持ち、賛美を表すにはあまりにも不十分で足りません。私たちはあなたに心から感謝します。私たちは永遠を手にするのです。私たちには永遠が必要だと思います。あなたを賛美し、あなたを礼拝し、”ふさわしい、ふさわしい、ふさわしい、屠られた子羊”と歌うために。この世の罪を贖ったお方。主よ、救いをありがとうございます。私たちのために、流して下さったあなたの血に感謝します。

(罪の代価)全額を支払うために。主よ、思い出させて下さって感謝します。私たちが救われている事を。あなたがその救いを購入して下さり、贈り物として私たちに下さったことを。救いという贈り物を。永遠のいのちという贈り物を。そして主よ、さらに感謝します。私たちが今夜ここで行ったことを、あなたと一緒に、もう一度行う時が、もうまもなく来ると信じます。難しすぎて、理解や把握ができません。しかし、その日が来ます。待ちきれません。私たちも切望しています。最後に言い祈ります。

マラナタ。主イエスよ、早く来てください。イエスの御名によって。アーメン。

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7